

第125期 中間株主通信

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

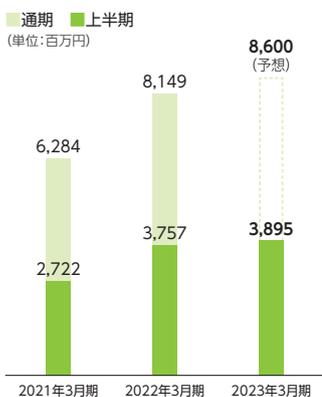
証券コード：4098

2023年3月期 上半期 連結財務ハイライト

売上高

3,895 百万円

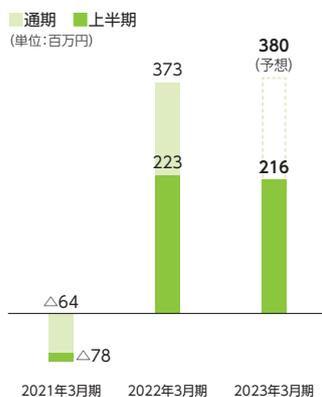
前年
同期比 **3.7%増**



営業利益

216 百万円

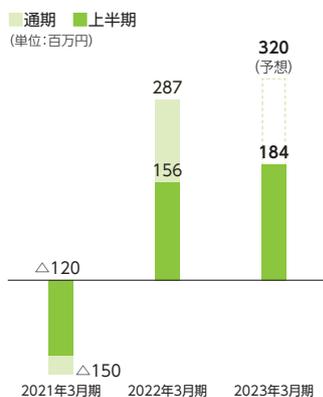
前年
同期比 **3.1%減**



経常利益

184 百万円

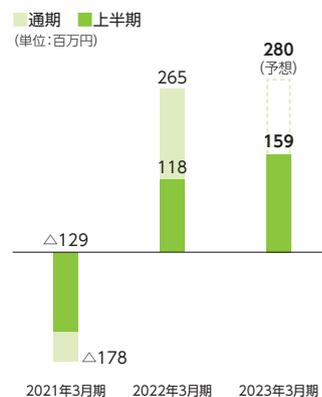
前年
同期比 **18.3%増**



親会社株主に帰属する
四半期純利益

159 百万円

前年
同期比 **34.3%増**



2023年3月期 通期連結業績予想

売上高

8,600 百万円

前期比 **5.5%増**

営業利益

380 百万円

前期比 **1.8%増**

経常利益

320 百万円

前期比 **11.2%増**

親会社株主に帰属する
当期純利益

280 百万円

前期比 **5.5%増**



さらに詳しい財務情報は
当社IRサイトをご覧ください。

チタン工業 IR



<http://www.titankogyo.co.jp/irinfo/irdata/>



トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

第125期 上半期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の業績につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長執行役員 井上 保雄

第125期 上半期の業績について

当上半期におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症による活動制限が緩和されるなかで、持ち直しの動きがみられましたものの、ウクライナ情勢の長期化や急激な円安などによる原材料価格の高騰により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社グループは、3カ年の第6次中期経営計画(2022年3月期~2024年3月期)に基づき、コスト削減で収益性の向上に努めるとともに成長戦略の実現と経営資源の効率化を進めるなど、企業価値の向上に取り組んでまいりました。

当上半期の売上高につきましては、一部製品の出荷が減少いたしましたものの、新型コロナウイルス感染症による活動制限が緩和されるなかで、製品の需要が回復したことに加え、主要原材料価格の高騰に応じて販売価格を是正したことなどにより、前年同期を上回る3,895百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

損益面につきましては、需要回復と販売価格の是正により、売上高は増加いたしましたものの、主要原材料価格の高騰などの影響を受けましたので、営業利益は216百万円(前年同期比3.1%減)となりました。また、前年同期は、営業外費用にシンジケートローン手数料50百万円を計上いたしましたものの、当上半期ではそれが僅少であったことにより、経常利益は184百万円(前年同期比18.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は159百万円(前年同期比34.3%増)となりました。

当期の中間配当につきましては、今期の業績及び今後の経営環境を慎重に検討いたしました結果、誠に遺憾ながら見送ることとさせていただきますので、何卒ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

製品用途紹介

当社グループの製品はこんなところに使われています。



- 1 船舶用塗料
- 2 排水処理用凝集剤
- 3 防錆用塗料
- 4 外壁
- 5 パソコン
- 6 プリンター
- 7 スマートフォン
- 8 自動車の内装
- 9 リチウムイオン電池
- 10 自動車用塗料
- 11 ブレーキの摩擦材
- 12 サンスクリーン
- 13 ソーラー電波時計用電池
- 14 化粧品
- 15 グラビアインキ(木目印刷)
- 16 クレヨン
- 17 プラスチック
- 18 カーペット

セグメント別の概況

酸化チタン関連事業



◆取扱製品◆

- 超微粒子酸化チタン
- 化粧品用酸化チタン
- 導電性無機酸化物
- チタン酸塩
- チタン酸リチウム

電子写真用トナー、化粧品、リチウムイオン二次電池等

売上高 **2,597** 百万円 前年同期比 **1.6%** 増

酸化チタン関連事業につきましては、半導体不足などの影響により、リチウムイオン二次電池向け製品の出荷が減少いたしましたものの、新型コロナウイルス感染症による活動制限が緩和されるなかで、トナー外添剤向け製品の需要が回復したことに加え、主要原燃料価格の高騰に応じて販売価格を是正いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は2,597百万円（前年同期比1.6%増）となり、需要回復と販売価格の是正により売上高は増加いたしましたものの、主要原燃料価格の高騰などにより、営業利益は177百万円（前年同期比24.7%減）となりました。

酸化鉄関連事業



◆取扱製品◆

- 合成酸化鉄

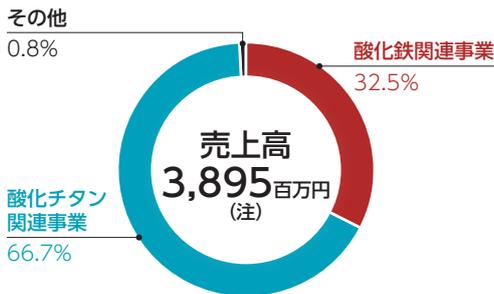
電子写真用トナー、化粧品、塗料等

売上高 **1,265** 百万円 前年同期比 **8.3%** 増

酸化鉄関連事業につきましては、ユーザーの一時的な在庫調整により、トナー向け新製品の出荷が減少いたしましたものの、新型コロナウイルス感染症による活動制限が緩和されるなかで、化粧品向け製品の需要が回復したことに加え、主要原燃料価格の高騰に応じて販売価格を是正いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は1,265百万円（前年同期比8.3%増）となり、主要原燃料価格の高騰の影響を受けましたものの、需要回復と販売価格の是正による売上高の増加に加え、生産数量増加による原価低減の効果により、営業利益は16百万円（前年同期は営業損失32百万円）となりました。

売上高構成比



(注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。
2 売上高のうち、輸出の金額は717百万円で、売上高に占める比率は18.4%となっております。

今後の見通しについて

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐなかで、政府による各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待されますものの、ウクライナ情勢の長期化や円安基調の継続などによる原燃料価格の高騰など、先行き不透明な状況が続くものと思われまます。

当社グループといたしましては、第6次中期経営計画に基づき、

コスト削減で収益性の向上に努めるとともに成長戦略の実現と経営資源の効率化を進め、リスク耐性を高めて経営基盤を強化し、あわせて企業と社会がともに繁栄する持続可能な未来の実現を追求することで、企業価値の向上を推進してまいり所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

サステナビリティ基本方針

チタン工業グループは、企業理念及び行動指針のもと、企業と社会がともに繁栄する未来志向の経営を追求し、中長期的な企業価値の向上を図りながら、持続可能な社会の実現に貢献します。

重要課題の特定

当社グループは、サステナビリティ基本方針を制定し、「中長期的な企業価値の向上」と「持続可能な社会の実現」に資する重要課題を特定しております。

具体的には、サステナビリティを巡る課題への対応が、当社グループの事業活動におけるリスクの軽減のみならず、将来の収益機会にもつながる重要な経営課題であるとの認識のもと、当社の本業が生かせ、かつ、成果をあげることができるとする社会・環境に関する課題という視点から項目を抽出し、最終的には取締役会において、重要課題を決定し、その進捗を取締役会で監督するものとしております。



重要課題

気候変動などの地球環境問題への配慮

従業員の健康・労働環境への配慮や公正・適切な処遇

取引先との公正・適正な取引

人的資本への投資

自然災害等への危機管理

知的財産への投資

連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前期末 (2022年3月31日現在)	当上半期末 (2022年9月30日現在)
【資産の部】		
流動資産	6,996	8,041
固定資産	9,376	9,130
有形固定資産	8,338	8,060
無形固定資産	18	15
投資その他の資産	1,020	1,054
資産合計	16,372	17,171
【負債の部】		
流動負債	4,783	5,763
固定負債	4,852	4,542
負債合計	9,635	10,306
【純資産の部】		
株主資本	6,031	6,120
その他の包括利益累計額	303	370
非支配株主持分	402	374
純資産合計	6,737	6,865
負債純資産合計	16,372	17,171

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	前上半期 (累計) (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	当上半期 (累計) (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
売上高	3,757	3,895
売上原価	2,984	3,145
売上総利益	772	749
販売費及び一般管理費	549	533
営業利益	223	216
営業外収益	28	26
営業外費用	95	57
経常利益	156	184
特別利益	—	4
特別損失	0	8
税金等調整前四半期純利益	155	180
法人税等	21	49
四半期純利益	134	131
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	16	△27
親会社株主に帰属する四半期純利益	118	159

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 (2022年9月30日現在)

社名 (英文社名)	チタン工業株式会社 Titan Kogyo ,Ltd.
設立年月日	1936年(昭和11年)6月22日
本店所在地	〒755-8567 山口県宇部市大字小串1978番地の25
資本金	34億4千万円
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
事業内容	酸化チタン及び酸化鉄並びにこれらに付随する化学工業品の製造及び販売

役員 (2022年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	井上 保雄
取締役専務執行役員	長岡 佳孝
取締役専務執行役員	長岡 茂
取締役常務執行役員	千々松 義人
取締役常務執行役員	西田 敦
取締役(常勤監査等委員)	大島 覚
社外取締役(監査等委員)	大田 明登
社外取締役(監査等委員)	佐藤 久典
社外取締役(監査等委員)	松野 文子

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日	定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
上場証券取引所	東京証券取引所		
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.titankogyo.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行される日本経済新聞に公告いたします。)		

株式の状況 (2022年9月30日現在)

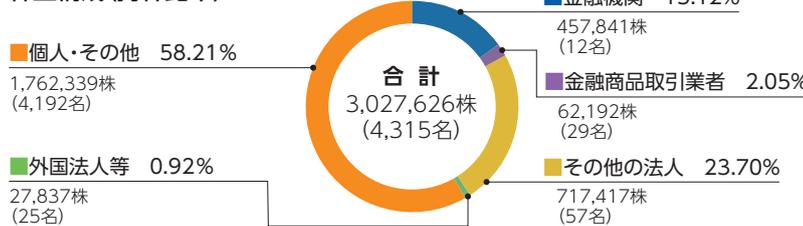
発行可能株式総数	発行済株式の総数 (自己株式を含む)	株主数
8,400,000株	3,027,626株	4,315名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	223,900	7.56
稲畑産業株式会社	204,949	6.92
株式会社東芝	200,000	6.75
株式会社山口銀行	128,223	4.33
株式会社山田事務所	96,195	3.25
小西安株式会社	93,568	3.16
平井健治	80,000	2.70
株式会社日本カストディ銀行	43,100	1.45
第一生命保険株式会社	38,600	1.30
山口産業株式会社	28,325	0.96

(注) 1 当社は、自己株式を65,165株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
 2 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

株主構成(持株比率)



(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてお取次ぎいたします。